

令和6年度第1回「中央区介護保険地域密着型サービス運営委員会」及び
「中央区おとしより相談センター運営協議会」議事録

1 日時 令和6年8月8日（木） 午後6時30分から8時20分まで

2 場所 中央区役所 8階 大会議室

3 出席者

【委員】 亀井智子（委員長）、井戸田舞（副委員長）、戸所綾子（副委員長）、山田隆久
関谷治久、佐久間悟、渋谷泰史、荻巣麻美、北川達三、小木紀明、高野大輔、
中野俊昭、湊陽子、足立直子、田部井久、渡瀬博俊

【事務局】 阿部志穂（高齢者福祉課長）、河内武志（介護保険課長）、介護保険課地域支援
係長、指導担当係長

【出席の承諾を受けている者】 吉田千晴（京橋おとしより相談センター管理者）
保田奈奈（日本橋おとしより相談センター管理者）
石川紫（月島おとしより相談センター管理者）

【傍聴】 なし

4 配布資料

第1部 中央区介護保険地域密着型サービス運営委員会

議題1 地域密着型サービス 区外指定事業所（資料1）

議題2 地域密着型サービス 令和6年度指定更新予定事業所（資料2）

議題3 地域密着型サービス 区内事業所の利用状況（資料3）

第2部 中央区おとしより相談センター運営協議会

議題1 令和5年度収支決算及び事業評価の最終報告（資料4）

議題2 令和5年度地域ケア会議から見えてきた課題と提案（資料5）

議題3 介護予防ケアマネジメント業務を一部委託する居宅介護支援事業所の選定
（追加分）について（令和6年2月1日以降分）（資料6）

第2部 中央区おとしより相談センター運営協議会

議題1 令和5年度収支決算及び事業評価の最終報告（資料4）

- ・介護保険課長及び各おとしより相談センター管理者より説明。

【意見・質問】

- ・それぞれのセンターにおける自己評価が3の「できている」という評価が多く、控えめな自己評価だという印象を受けたがいかがか。
→5の「非常によくできている」や4の「よくできている」というつもりで頑張っている業務しているが、冷静に分析して3とした。
→各担当に自分の業務を評価してもらったが、皆が控えめに評価をしている。
→実績が昨年度に比べて多かったものや力を入れて取り組んだものについては、自己評価を4とした。
→区としては3所を比較して客観的に評価することが役割なので、各センターの評価を参考にしながら客観的に評価できる部分は積極的に評価をして一部の事業ではAをつけた。しっかりした評価により、区民へのサービス向上につなげていくようにする。
- ・コロナが明けてから高齢者の生活機能が低下している点が目に付き、おとしより相談センターにおかれては、はつらつ健康教室に誘ったり、掘り起こしが大変だろうと痛感している。また、認知症の方について、家族の理解や実態を把握したうえで適切な場所へ案内することに苦労はあると思うが、福祉サービスの利用を促せる仕組みがあると良いと思う。
- ・普段お世話になっている医者や診療所があるという方はいるため、おとしより相談センターの職員の働きを知っている方が増えて、円滑に医療と福祉をつなげられると良いと思う。ご本人の病状や認知症を含め、進行が穏やかになるような医療的アプローチをしないと介護の負担が増えることにもなるため、医療と介護の連携が大事だと感じている。
- ・人材を採用できなかったという話があったが、おとしより相談センターは何人いれば運営を円滑に行えるのか。
→高齢者3,000人以上に対して職員が4人という基準が国で定められている。この基準に加え、高齢者が1,500人増えるごとに職員を1人追加したり、認知症地域支援推進員を1人配置するなどにより現在の職員体制となっている。
- ・つながりや見守りを拒否するお年寄りや逆に孤独に暮らし居場所を探している方に対する

るアプローチが難しいという報告があったが、それぞれのサービス事業者からの意見は
いかがか。

→マイホーム新川では高齢者がボランティアとして施設に来所する中でつながりを維持したり、何か困り事や相談事がある場合はおとしより相談センターの職員が間に入ることでつながるといのが見受けられる。ケアマネジャーの立てる理想的なサービスが十分に入りきらない方もいるが、職員が根気強く関わってつながりを作ることが現場としてある。

→訪問看護を行う中で、マンションごとの地域見守り隊がある管理組合からおとしより相談センターに「最近誰々と連絡が取れない」と連絡したということ聞いた。自治会や民生委員、見守り隊の方々が連携を取れる間柄になっていくと小さなことが発見に繋がると感じている。

→在宅サービスの観点では、地域に埋もれている潜在的な利用者ニーズを様々なサービスを提供していくことで掘り起こし、地域のつながりを増やしていくことが地道ながらも大切だと思っている。

・月島おとしより相談センターでは夜間休日対応をコールセンターに委託をしているが、京橋や日本橋のおとしより相談センターでは夜間対応をどのように行っているのか。

→マイホーム新川内に設置しているコールセンターに委託をしており、おとしより相談センターの受付時間外に警察などから緊急連絡が入った場合に、3所の対応を全てこのコールセンターが行っている。

議題2 令和5年度地域ケア会議から見えてきた課題と提案（資料5）

・介護保険課長より資料5の見方、追加箇所について説明。

【意見・質問】

・区内に7か所ある認知症カフェの活用状況を教えてほしい。

→体を動かしたり、工作や会話を楽しんだり、介護保険の制度説明など参加者は有意義な時間を過ごしていると思っている。実績としては、認知症カフェを40回開催し、延べ650人の方に参加いただいている。

・つながりを持たない・持てない高齢者について、通いの場が20か所に増えて身近なところで利用できるけれども、心理的なバリアや様々な問題により行きづらいという方が

いることも事実かと思う。

- ・近すぎると近所に情報が漏れることやデイサービスでリハビリをしているところを近所の方に見られるのは嫌だと思うのは、利用者心理だと思う。そのため、扉を閉ざして出てこないというのはある面ではしかたがないのではないかと思う。
- ・おとしより相談センターに出入りしているところや相談しているところを見られたくないという意見は言われたことはある。実際の対応が必要な場合には京橋おとしより相談センターの対応になることを説明した上で、どうしてもという時は相談を日本橋や月島のおとしより相談センターに協力いただいております。
- ・デイサービスや介護サービスの利用について、近所のデイサービスに行きたい、送迎の車ではなく自分の足で行きたいという方が多い。送迎の車が来るのは嫌だからデイサービスを利用したくないという方に対しては、送迎スポットを変えて利用してもらっている。
- ・月島おとしより相談センターは特別出張所の中に入っているため来所者数が多いが、利用者から相談に来ているのを見られたくないという話を聞くことは時々ある。足が遠のいてしまう方には、月島おとしより相談センターの職員が自宅に出向いて相談を受けるという形を取り、訪問することもある。
- ・男性の社会参加について、提供できているチャンネルが少ないのではないかと感じている。敬老館の様々な講座を案内するようにはしているが、利用者としては足が向かない様子なので、少しやり方を変えなきゃというところに来ていると民生委員の中で出ている。

議題3 介護予防ケアマネジメント業務を一部委託する居宅介護支援事業所の選定（追加分）について（令和6年2月1日以降分）（資料6）

- ・令和6年2月1日以降から令和6年6月30日までに3事業所について、介護予防ケアマネジメントの一部委託希望があったため、承認を委員に諮り、委託事業所の適正ありとして了承された。

【意見・質問】

- ・3つの事業所全てが中央区からは遠隔地だが、運営上、支障はないのか。
→一時的に区外のご家族の近くにいるなどの理由から区内でサービスを受けられない区民のために、区外の事業所に委託をしている。そのため、事業の運営に支障はない。